



平成 25 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 曙ブレーキ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 信元 久隆
(コード番号 7238 東証第一部)
問合せ先 経理部長 篠田 達也
(TEL. 048-560-1501)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 24 年 11 月 1 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期通期業績予想の修正について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成25年3月 通期連結業績予想数値の修正 (平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	208,400	6,000	4,300	2,100	15円82銭
今回修正予想 (B)	204,700	4,000	3,100	100	0円75銭
増減額 (B - A)	△3,700	△2,000	△1,200	△2,000	—
増減率 (%)	△1.8	△33.3	△27.9	△95.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	209,584	3,835	2,097	△3,215	△24円25銭

2. 修正の理由

通期連結業績予想数値の修正の要因となる主な地域は以下のとおりであります。

日 本

売上高は①中国での日本車不買運動の影響等から、輸出用を中心とした完成車メーカーからの受注が減少したこと②産業機械メーカーの国内及び輸出向け受注が減少したことにより、前回予想より減る見込みです。

営業利益は受注減による利益の減少に加え、それに対応した原価低減、固定費の削減に時間を要していることなどから、前回予想より減少する見込みです。

また、当期純利益は当期の業績見通し等を踏まえ、第3四半期において繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、一部の繰延税金資産を取り崩したことにより、前回予想より減少する見込みです。

欧 州

製品構成の変動に伴う限界利益率の悪化(利益率の高い補修品ビジネスの売上が当初予想より減少したこと)や原価低減及び固定費削減に遅れが生じていることにより、営業利益は前回予想より減少する見込みです。

尚、北米事業については、各種施策を着実に実行できる見通しが立ち、営業利益は大幅に改善し想定通り、赤字からの脱却を実現する見込みです。

また、中国事業における尖閣問題による影響は前回予想より小さかったことから、見通しを上回る予定です。

来期への取り組みに関しましては、「平成25年3月期第3四半期決算短信」3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」に記載しております。

【地域別の通期業績予想】

(単位：百万円)

		前回予想	今回予想	増減	増減率
売上高	日本	91,400	89,500	△1,900	△2.1%
	北米	98,100	98,300	200	0.2%
	欧州	4,700	4,700	—	—
	中国	5,800	6,100	300	5.2%
	タイ	4,900	5,100	200	4.1%
	インドネシア	13,200	13,100	△100	△0.8%
	連結消去	△9,700	△12,100	△2,400	—
	連結 計	208,400	204,700	△3,700	△1.8%
営業利益	日本	4,000	2,100	△1,900	△47.5%
	北米	0	100	100	—
	欧州	△600	△850	△250	—
	中国	400	460	60	15.0%
	タイ	110	140	30	27.3%
	インドネシア	1,890	1,850	△40	△2.1%
	連結消去	200	200	—	—
	連結 計	6,000	4,000	△2,000	△33.3%

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上